

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870600339
法人名	社会福祉法人 光明会
事業所名	グループホーム かわせみ
所在地	愛媛県西条市大町776番地23
自己評価作成日	平成21年11月10日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年11月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

・医療との連携 ・地域・家族を交えての行事

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>10月に行われた事業所内での「ミニ運動会」には、多くのご家族の参加があり、ご家族からのアドバイスもあり、利用者ご本人とご家族が手をつないで入場行進をされた。「かわせみ通信」を毎月発行し、行事や日頃の暮らしぶりを写真入りで知らせておられる。</p> <p>利用者のご希望で現在は、利用者全員が夕食後に入浴することを支援されている。時に、昼間のご希望がある時は、ご希望に沿って支援されている。</p> <p>事業所では、母体病院と協力して、1名の方を看取られたことをきっかけに「看取りに関する指針」を整備された。「住み慣れた環境で馴染みの人に囲まれながら、不安や苦痛を和らげ自然経過に近い支援とケアを提供する。」という「看取り介護に関する理念」を全職員で作成して、指針の中に挙げられている。</p>
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム かわせみ

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

高橋 英子

評価完了日

21 年 11 月 10 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 職員全員で話し合って理念をつくり、その理念に基づいてサービスを提供しています。 (外部評価) 事業所では「基本からもう一步踏み込んだ理念を揚げたい」との思いから、全職員がそれぞれに考えた案を持ち寄って話し合い、今年「共によるこび 共に微笑み そっと背に手を添えれる 共感できるケアを目指します」という理念を作成された。管理者は、「『共』とは、利用者、職員、地域の方等、事業所に関わっていただくすべての人のこと」と話されていた。理念は、玄関に掲げ、又、職員の名札の裏やロッカーにも示し、職員間で共有されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 利用者が地域と関わりを持ち暮らせるようまず職員が地域行事の参加等、地域との交流を積極的にもつようにしています。 (外部評価) 散歩時には、畳屋さんが声をかけてくれたり、美容室の方は店の中からそっと見守ってくださっている。近所の方からゆずをいただき、ゆず湯を楽しまれた。地域のボランティアの方が、大正琴を聞かせてくださるというお話があり、法人のケアハウスに場所を借りて、演奏会を開催された。	事業所では、さらに「地域との関係を深め、地域の方に気軽に来ていただきたい」と考えておられ、「ボランティアの受け入れをさらにすすめていきたい」と話しておられた。事業所独自でも、地域とのおつきあいが広がっていくよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 認知症介護の相談窓口となり相談に応じています。又、認知症についての理解を深めてもらえるよう話しています。今後も認知症についての正しい理解を広めたいと考えています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議に参加して下さるいろいろな方面の方より意見やアドバイスをいただき職員全体で話し合っ て取り組んでいます。 ・感染症の予防 ・運動会のゲーム内容</p> <p>(外部評価)</p> <p>地域の方や民生委員、介護相談員の方にも参加いた だき、会議を2ヶ月ごとに開催されている。時には、退 居された利用者のご家族の参加もある。毎回、会議の 始めには、前回の会議の議事内容を報告されている。 地域の方より事業所で行う運動会の「演目」を提案い ただき、ペットボトルを利用したボーリングや綱引き 等を探り入れられた。</p>	<p>事業所では、さらにいろいろな立場の方に会議に参加 していただき、ご意見をいただきたいと考えておられ る。事業所からの案内や議題の工夫等をすすめ、会議 を重ねて事業所のサービスの質向上につなげていかれ てほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議に包括担当者に出席してもらい、情報交 換の場となっています。市・介護相談員・事業者の連 絡会では実情や取組みを伝え、相互協力を得られて います。相談もできる関係ができています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時、地域包括支援センター担当者に「食 中毒」についてお話しいただいたり「インフルエンザ の予防」についてアドバイスをいただいた。運営推進 会議時に、「あさひ会」という地域のボランティア団 体と、地域包括支援センターの担当者が会われたこと がきっかけとなり、「あさひ会」の活動の中で、地域 包括支援センター職員による「包括劇団」が、認知症 についての劇を披露された。</p>	<p></p>
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束は行っていません。身体拘束について正しく 理解するため研修に参加し、それを持ち帰り報告し全 員で学んでいます。</p> <p>(外部評価)</p> <p>日中は、玄関に鍵をかけず「外へ出たい」と言われる 利用者を止めることなく、ご本人のその時の目的の場 所まで職員が同行することに努め、ご本人が納得して ホームに帰ることができるように支援されている。</p>	<p></p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 利用者に良かれと思う発言でも虐待となる発言がある(食事が低下している方に少しでも食べて欲しくて言ってしまうこと等)ことを職員全員が知っており、職員同士お互いに注意し合うよう心がけています。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修に参加し、その資料を職員が回覧で読み、内部研修で学んでいます。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) GH利用前に十分に説明し、不安や疑問を尋ねるようにしています。又、契約内容改定の際、家族会で皆さんに説明し、その都度理解してもらえるように努めています。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会では職員が参加せず話し合ってもらい、その報告を受けるようにしています。節電について意見をいただき、より一層注意するようになりました。今後第三者の出席を考えています。 (外部評価) 10月に行われた事業所内での「ミニ運動会」には、多くのご家族の参加があった。ご家族からのアドバイスもあり、利用者ご本人とご家族が手をつないで入場行進をされた。「かわせみ通信」を毎月発行し、行事や日頃の暮らしぶりを写真入りで知らせておられる。又、利用者個々の担当職員が個別に記録する「連絡表」には、「最近の生活の様子をお知らせします」と記して、ご本人の暮らしぶりや体調、訴えや希望等を記入し、写真を添えて届けておられる。	事業所では、「家族会に民生委員や介護相談員の方に参加いただくことで、ご家族が意見を出してもらえるのではないかと考えておられる。いろいろな取り組みをすすめ、事業所のケアサービスについて、ご家族から具体的なご意見や希望が聞けるよう工夫されてみてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 月/1度 運営委員会を開催し、代表者・施設長・管理者・職員が運営状態について話し合っています。出席できない職員の意見はその日出席する職員が代わりに伝えるようにしています。	
			(外部評価) 管理者は、利用者それぞれの食事形態や、パットの使用の工夫等、日々の中でも職員と話し合い、採り入れて取り組まれている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 代表者は職員がやりがいをもち働くことができるよう職場環境・条件整備に努めています。GH内では利用者だけでなく職員への声かけがあり職員個々のやる気がアップしています。今回より考課表にコメントの欄ができました。	
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員全体が外部研修に参加できるようにしています。職員個々に応じた研修内容となるようにもしています。又、内部研修は月/1回行い、ケアの質向上に繋がっています。	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) GH協会の研修や他の外部研修は同業者との交流の場となり、ネットワークづくりともなっています。他のGHの運営推進会議や行事に参加させてもらうきっかけともなりました。	
			(外部評価)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 利用前に自宅へ訪問させてもらったり、本人が今どうしたいのか・どう考えているのかを知ることができるよう努めています。何度も会い、顔を見知ってもらうことも大切と考えています。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族が何に不安を感じているか知るよう努め、ひとつづつ解消できるようにしています。何より信頼してもらえる関係づくりが大切と考えています。(傾聴することが一番と思っています)	
17		初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) GHに入居するにあたり、家族や今までの生活の場と離れることが不安であると考え、できる限り家族やなじみの人と接する機会を多くもってもらえるようにしています。又、本人がどう感じ考えているかを知るよう努めています。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者より調理の方法・味付け、また生活の工夫など教えてもらう機会を日々つくっています。相談して一緒に行くと一層楽しい時間が共有できています。	
19		本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族と情報交換を密にし、本人がどうしたいかを知り、家族の協力を願い、一緒に対応しています。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 親類や友人、本人の大切な場所を教えてもらい、GHにいてもその関わりが続けられるよう努めています。家族や友人、近所の方の訪問を歓迎し、本人の大切な場所には家族と相談し要望に沿えるよう努めています。 (外部評価) 県外からご家族が来られた時には、法人内の「ゲストルーム」で宿泊をされることもある。週に1度は、ご家族とJRを利用してご自宅に戻り過ごされる方もある。ご本人の希望で、ご家族も車に同乗して、市外へのお墓参りに行かれたこともある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の関係が良好となるよう、その人ごとに応じて対応しています。仲の良い人がいるのですが、その人が不機嫌でかまわず当たる時は、そっと離れてもらったり、不安で歩いている時、居室で一緒にお茶してもらったりと支援しています。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院によりGH退居された方を時々見舞い、家族からも話しを聞いています。困っていることがあればワーカーに繋いでいます。又、退居された方の家族が運営推進会議に出席して下さったりしています。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 今どうしたいか・どう感じ考えているかを知るよう努めています。就寝前の更衣や服薬時の何気ない会話の中にある事が多く本人に寄り添うようにしています。意向を知ること難しい人は家族との交流の際の様子やふれあいより本人本位に考えています。	
			(外部評価) 入居時、ご家族にこれまでの生活習慣や好み、「キーとなるエピソード」等を聞き取り、アセスメントシートに記録されている。日頃から、利用者の言葉を職員で伝え合い、利用者の過去を振り返りながら、どんな思いがあるのか、その言葉の背景を探っておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時に本人や家族より尋ねています。又、生活していくうち知り得ることもあり、記録しておくようにしています。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 家族への連絡表を作成するのに月1回、その人の1日の生活の様子・どう感じ考えているか、又、体調やADLなど現状についてまとめ記録しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人・家族に意向を伺い、その為にはどうすれば良いかみんなで話し合い、Dr やリハスタッフの意見も取り入れてプランを作成しています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>計画作成後に、ご家族に内容を説明し、ご意見を聞くようにされており、作成前には出てこなかったご意見も、作成後の計画を見ることにより出される場合もある。「体を動かすことが好きなので、できることを計画に採り入れてほしい。」との要望が出された際には、ご本人の得意なことを活かして、掃除や洗濯等の家事を計画に採り入れられたような事例もある。計画の見直しは、利用開始時には3ヶ月、その後は、6ヶ月毎に行われている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一日の様子を時間ごとに記録する様式を使い、ケア内容や気づき・工夫を記入して職員が情報を共有しケアに活かしています。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>生活していく上で発生するニーズに対応できるよう柔軟な考えを持つよう努めています。 ・家族が入院して不安となった利用者に対し、その家族のお見舞いを計画・実行しました。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その人を取り囲む地域資源を知り、その人がその人らしく楽しく暮らせるようプランに組み込んでいます。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>かかりつけ医との関係を良好に保ち、本人・家族の希 望をきちんと伝え、今後についても話し合い、緊急時 にも対応してもらえるようになっていきます。 腎機能低下で透析が必要になっていきますが、本人・家 族の意向で透析しない方向で対象療法をしている方が おります。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者は、母体病院の医師が主治医であり、24時間 体制でいつでも相談できるようになっています。母体病 院の地域連携室の看護師が週に1度訪問し、利用者の 健康状態をチェックされている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個々の利用者について情報を伝え相談し、アドバイ スを受けたり、受診の手続きをしたりしています。</p>	
			<p>(外部評価)</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院中面会し、不安等話を伺うようにしています。 又、早期退院に向けておやつや食事をGHで摂ってみ たりと病棟と連絡を取り合い行っています。</p>	
			<p>(外部評価)</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の状態を家族に知ってもらい、今後どうした いかを話し合い、できる限り穏やかに生活できるよう 支援しています。又、病院Dr・Nsと連絡を取り、本 人・家族・職員が不安なく過ごせるようにしていま す。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>事業所では、母体病院と協力して、1名の方を看取ら れたことをきっかけに「看取りに関する指針」を整備さ れた。「住み慣れた環境で馴染みの人に囲まれなが ら、不安や苦痛を和らげ自然経過に近い支援とケアを 提供する。」という「看取り介護に関する理念」を全 職員で作成して、指針の中に挙げられている。</p> <p>管理者は、看取りに対してご家族の協力の大切さを実 感しておられた。「看取りに関する指針」を整備され たことを期に、ご本人やご家族の希望をうかがいな がら、事業所でできる支援についてお話しされたり、ご 家族の不安や心配ごとを聞き取り話し合うような機会 を作ってみてはどうだろうか。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 病院の勉強会に参加させてもらい、応急手当等の対応について学んでいます。病院が近いのでストレッチャーで搬送した方が早いこともあります。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 防災訓練の際、利用者を職員ひとりで避難させられる方法を実際行っています。地域の方、病院にも避難場所を伝え、協力体制をつくっています。	
			(外部評価) 母体病院と法人の施設が地域の自治会の避難場所となっている。法人全体で行う避難訓練時には、自治会の方達も参加されている。消防署の協力を得て事業所で行った避難訓練では、シーツを使って職員ひとりで利用者を避難させる方法を実際に利用者に協力いただき行われたり、消火器の使い方を教わった。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者をひとりの人として接し、安心し尊厳のある暮らしが一緒にできるよう対応しています。自分や家族だったらどう感じるか考え、大切に関わっています。	
			(外部評価) 昼食後、薬を飲むのが遅れている方に、職員は、「お腹いっぱいでは飲みませんか」と声をかけて、時間を少しずつ声かけるようにされていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者とのスキンシップを図り、寄り添った話を傾聴するようにしています。利用者が表情豊かに語り冗談を言ったりする中で思いを知ることが多くあります。尋ねるような言葉かけにするよう意識しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ひとりひとりのペースに合わせて支援しています。 ・朝起きにくい時、少し遅めの朝食としています。 ・外へと出かけた時、希望に応じ散歩やドライブへ出かけています。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 季節に合った、その人らしいおしゃれができるよう支援しています。お花見の時、好む方にネイルを行い桜の花びらを散らしてみました。外出時には一緒に服を楽しんで選んでいます。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理が得意な方には一緒に食事づくりを手伝ってもらい、食器洗いやテーブル拭きなど、その人ごとできることを行ってもらっています。 テーブルクロスを掛けると食べるサインとなり、掛けるのを楽しみにしてくれています。	
			(外部評価) 献立は、病院の栄養士が立てたものをもとに、利用者の好みを考慮し、事業所で食事作りをされている。利用者のお膳には、顔写真入りの名札を置き、ご自分のお膳が分かりやすいようにされている。ご自分で運ばれる方や食後、下膳して洗い物をする方もうかがえた。利用者のお箸には、職員が名前を彫って、個々が「マイ箸」を使っておられた。おやつ「最中」は、かわせみの文字と絵がカラープリントされたオリジナルのもので、市内のお餅やさんが作ってくれており、利用者からは、鳴き声等も飛び出し、おしゃべりも弾んでいた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) その人ごとの食事量としています。又、好みや体調、歯の具合等で臨機応変にしています。排泄状態に応じて水分を勧めています。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 清潔保持と誤嚥防止のため、食後に行ってもらっています。自分では行わない方、できない方、手伝っています。夜は義歯を預かり洗浄しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価) ひとりひとりの排泄リズムを把握し、トイレでの排泄が間に合うようトイレ誘導しています。自己導尿している方にはカテーテルの洗浄等、こちらで行い本人ができることは続けてもらっています。</p> <p>(外部評価) 個々の排泄の記録をもとに、利用者のパターンに合わせて誘導されている。利用開始時、紙パンツを使用されていた方の排泄の傾向の把握に取り組み、現在では布パンツを使用するまでに至ったような事例もある。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その人ごと体調に注意し、水分補給や軽い運動を勧めています。なかなか難しく下剤の使用もしています。</p>	
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価) その人ごとの入浴の好みを知り、ゆっくり楽しんで入浴してもらえるように努めています。浴室に富士山の絵のポスターを掲示し、リラックスして入浴できるようにしてみました。</p> <p>(外部評価) 利用者のご希望で現在は、利用者全員が夕食後に入浴することを支援されている。時に、昼間のご希望がある時は、ご希望に沿って支援されている。仲のよい利用者同士が誘い合って入浴される方もある。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 就寝前の入浴、ゆっくりした時間、温かい飲み物、仲良しの人とおしゃべり等、就寝前に安心して過ごしてもらうよう支援しています。夜中に不安で訴えのある方には傍に居て背中をさすったり、温かい飲み物勧めています。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ひとりひとりの薬について薬剤師の協力の下、分かりやすくファイルにまとめています。服薬での症状の変化は早急にDr・Nsに相談報告しています。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 生きがいを感じて暮らせるよう、その人ごと得意とすること・好むことを支援しています。 (庭木の剪定・ささがきごぼう・ドライブなど)	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 毎日のように駅への散歩を希望する方には一緒に駅へ出かけています。タンス内の整理をしたくて片付け用のカゴを購入に行きたい方には下見してから外出予定です。タイムリーにできない時もあり、柔軟に対応できるよう努めます。	
			(外部評価) 近くの公園に出かけておやつを食べたり、スーパーに出かけて、ホームの食材の買い物をしたり、ご自分のお好きなおやつやパンを買われる方もいる。時には、利用者と計画を立て、回転寿司を食べに行くこともある。毎年、街中で見ていた秋祭りのだんじりだが、今年はインフルエンザの流行もあり、母体病院に来た際と、街中まで車で出かけて車中から見て楽しまれた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人が管理している方もおり、外出時希望に応じて使っています。又、こちらで預かっている方には必要時、本人にお渡しし自分で判断して使ってもらうようにしています。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人からの希望がなくてもこちらからプレゼントのお礼に電話してはと勧めたり、不安な時、声を聞いてもらったりしています。年賀状には近況の写真と共に本人のコメントも記入してもらっています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>現在の建物のハード面をカバーし、居心地良く暮らせるよう季節感のある空間づくりを工夫しています。かまぼこ板の再利用は好評です。今後もアイデアを出し合って工夫していきます。</p> <p>(外部評価)</p> <p>廊下のつきあたりには、観葉植物とソファがあり、利用者数人が座っておしゃべりするような場所で、くつろげる人気の場所となっている。かまぼこ板等を使って、利用者と職員と一緒に、飾り棚やフォトフレームを作って飾ってあった。利用者は、シルバーカーや歩行器を使い、居室と居間を行き来されていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>狭い空間ではあるのですが、ホッとくつろいで過ごせるスペースがあります。仲良しさんが談笑中にはお茶をお出ししてゆったりと過ごしてもらっています。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ホッと落ち着く部屋づくりを本人家族と相談して工夫しています。現在、タンス内の整理が気にかかる人に整理カゴの使用を一緒に検討中です。</p> <p>(外部評価)</p> <p>各居室には、カーネーション、ひまわり等と花の名前が付けられており、それぞれの花の造花を飾り、ご自分の居室がわかりやすいようにされていた。居室には、使い慣れた鏡台やご家族のお位牌を持ち込んでおられる方もあり、又、神社のお札にお酒を供えている方も見られた。ご家族が面会に来た時に、針仕事をするための机と椅子を置いておられる方もあった。仲のよい利用者同士がお部屋で一緒にお茶を飲まれることもある。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>トイレやお風呂の場所が分かりにくくなっている方が多くあり、さり気なく分かる工夫を考えています。</p>	